二人の近代 ―― 諭吉と襄 ―― | 目次

## 

はじめに 14

第1節 福沢諭吉の西洋体験

2 諭吉の眼 16

米欧使節団の随員として 22

4

3 適塾時代

18

5 洋行後の諭吉 31

新島襄の西洋体験 39

1 祖父 弁治

39

第2節

学問修業

自由を求めて 43

3

4

箱館行

14

3

第 2 章
・慶應義塾と同志
型と同志社英学校 -
福沢諭吉
と新島襄の
福沢諭吉と新島襄の教育思想 -
77

おわりに 70 5 アメリカで

55 47

おわりに				第 2 節					第 1 節	はじめに
<b>V</b> C	3	2	1	新	4	3	2	1	福沢	<b>V</b> —
154	文明論 149	新島襄の大学設立構想 121	同志社英学校 112	新島襄の教育思想 112	福沢諭吉の人民観と文明論	福沢諭吉の教育思想 91	政府・慶應義塾・福沢諭吉	慶應義塾設立 78	沢諭吉の教育思想 78	77
					99		83			

第Ⅱ部 新	おわり				第2節					第1節	はじ	第 3 章
新島襄 ―― 時代と思想 ――	おわりに 303	3 新島襄の「文明論」とキリスト教 296	2 新島襄のキリスト教把握 279	1 文明論 264	<b>72</b> 節 新島襄の文明論 264	4 福沢諭吉と宗教 237	3 歴史事象と福沢諭吉 189	2 福沢諭吉における「民権」と「国権」 179	1 文明の定義 164	<b>7-1</b> 節 福沢諭吉の文明論 164	はじめに 163	福沢諭吉と新島襄の文明論
												169

飯田逸之助宛書簡 376

3 2

教会合同問題

380

1 ブリッジマン『連邦志略』の衝撃 第 2 節 新島襄の平民主義 366 第 372 第 366 第 366 第 366 第 372 第 366 第 366 第 366 第 372 第 366 第 372 第 366	第5章 新島襄の平民主義と人民観おわりに 39	2 1	第3節 草創期の同志社と槇村正直 3 槇村正直の文教政策 22 2 勧業振興策 21	第2節 京都の近代化と槇村正直 第2節 京都の近代化と槇村正直 2 トラブルメーカー 319
連邦志略 372 366 366 の衝撃 374	と人民観	教授	321 政策 326 337	将 321 正 直 319 321

第 1 節

<sup>319</sup> 319

事	人	あ	終	
事項索引	名宏	あとがき	章	おめ
31	引	き		お り に
		:		だ 2 1 新
				396 贖 人 人 物 。
				2 1 新島襄の思想的基盤 396 <sup>394</sup> <sup>385</sup> <sup>388</sup> <sup>394</sup> <sup>385</sup>
				想 394 385 的
				基盤
		•		0.0%
				385
		:		
		:		
		:		
		:		
Ė		:		
419	413	410	401	